ボランティア部門
《食生活改善推進員》

農林水産大臣賞

楢葉町食生活改善推進員会

(福島県) 活動期間 32年

放射線と食の安全についての車座意見交換会

住民の不安解消と正しい知識の習得を目指して

東日本大震災・原発事故の避難で休会し、平成26年に活動を再開。放射線と食の安全についての車座意見交換会を、地域で活動しているサロンやミニデイサービス（以下、「サロン等」と言う。）の年間予定の中に盛り込んで、各サロン等を巡回して実施しています。放射線と食品についての専門家からの講話と、町の食品放射線検査所で検査した自家栽培の野菜を使った食事を調理し、サロン等参加者に提供しています。

「車座意見交換会」の様子

専門家と住民のリスクコミュニケーション

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターと連携し、「食と放射線」に関する研修を実施しています。参加者から事前に疑問や質問を募り、当日、講師が回答することで、参加者の理解がより深まっています。さらに、参加者に提供する食事に使用した野菜の放射線検査結果も研修の中で説明しています。

「放射線と食の安全」についての講話

メニューはオリジナルの「減塩すいとん」

参加者・会員・近所の住民等が自家栽培した、放射線検査済みの野菜を使った減塩すいとんを提供、安全性の学びにつなげています。町の名物のすいとんを、野菜たっぷりで塩分控えめにした、当会オリジナルのレシピを使っています。

みんなで一緒に食べて学ぶ

この度の受賞、大変光栄に思っております。この結果は、東日本大震災の後、ご支援くださった多くの方々のおかげでもあります。この場をお借りして感謝いたします。受賞を励みに、町の復興にも貢献していく所存です。

楢葉町食生活改善推進員会　会員一同